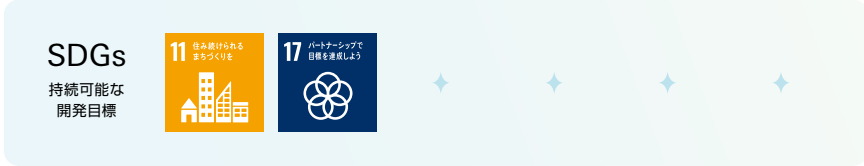


目指すべき当社の将来像～従業員が策定したKGI/KPI～

私たちは、当社が取り組むべき重要課題（マテリアリティ）と向き合い、
“Life Design Developer”として、より良い地域や社会の未来を創造します。



当社が取り組むべき10の重要課題（マテリアリティ）に対し、従業員が話し合いを重ね、KGI（最終目標）とKPI（中間目標）を決定しました。2050年に目指す姿として掲げたKGIに合わせて、2030年までに達成すべき具体的なKPIを設定。全社で課題を共有し、一体となって解決に取り組むことで、地域のお客さまや持続可能な社会に貢献してまいります。

決定までの流れ

KGI/KPIの策定を目的に、各本部長の選出や公募により、海外を含めベテランから若手従業員まで22名の多様な人材が揃いました。2020年7月から約半年にわたり、4度のワークショップを通して一人ひとりが企業としてのあるべき姿を検討。CSRアジアの日本代表を務める赤羽真紀子氏からアドバイスをいただきながら、全従業員の行動指標となるKGI/KPIを決定しました。

- 7月14日：第1回ワークショップ
ワークショップの目標と検討課題を共有
- 8月27日：第2回ワークショップ
ディスカッションによりKGI/KPIの案をまとめ
- 11月27日：第3回ワークショップ
有識者の意見を踏まえKGI/KPIの案を修正
- 1月28日：第4回ワークショップ
KGI/KPIを確定

お客さま、専門店さま、従業員から「選ばれる企業」であるためには、“こんな会社になりたい”という指針を明確に打ち出す必要があります。そこで従業員の話し合いによって、目指す会社の将来像（KGI）と、その道標となる中間目標（KPI）を設定しました。要職にあるベテランから公募に立候補した若手社員まで、さまざまな立場の従業員が自由闊達に議論を交わすことで、一人ひとりが会社の将来を考え、自分と異なる意見にも耳を傾ける機会になりました。地域・社会の課題を解決するソリューション・カンパニーとして、全社員が個人目標にマテリアリティに関わる項目を必ず組み込むなど、社内でのさらなる意識向上を図るとともに、お客さまや専門店さまにも積極的に情報を発信してまいります。

取締役 管理本部長
岡本 正彦

ワークショップに参加した若手・海外従業員の声

以前よりまちづくりを通して社会課題の解決に貢献したいという想いがあったワークショップに参加し、SDGsの知識を深めつつ当社の目指す姿を考えました。KGI/KPIは策定して終わりではなく、自分ごととしてとらえていただくために発信してベクトルを合わせることが大切だと考えます。社会に与える影響が大きい当社だからこそ、お客さまやステークホルダーを巻き込んで、マテリアリティ解決の一翼を担ってきたいです。



イオンモール広島祇園
営業担当
（入社4年目）
館澤 瑛美

担当したマテリアリティ
「文化の保存・継承」
「気候変動・地球温暖化」

大学では環境学を学び、以前から環境保全に貢献したいと考えていました。ワークショップには専門的な内容も含まれていましたが、学生時代に得た知識を活かしつつ、周りの方に質問をしながら進めました。ワークショップで生まれた従業員同士のつながりを大切にし、当社が総合ディベロッパーとして成長していく中で、まちのイメージカラーがグリーンになるような緑あふれるまちづくりに貢献したいです。



イオンモール鈴鹿
オペレーション担当
（入社2年目）
沖田 星矢

担当したマテリアリティ
「文化の保存・継承」
「気候変動・地球温暖化」



イオンモール大牟田
オペレーション担当
（入社1年目）
坪崎 祐太

担当したマテリアリティ
「生産消費形態」
「多様性・働き方」

勤務地である福岡県大牟田市は、内閣府から持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い地域として「SDGs未来都市」に選ばれており、ワークショップでは地域の取り組みも参考にしてアイデアを提案しました。少人数のディスカッションでは司会役として進行を任されるなど、これまでにない成長の機会にもなりました。ワークショップを通して身についたSDGsの視点を今後の業務にも活かしていきたいと思っています。



イオンモール福岡
オペレーション担当
（入社3年目）
川里 康介

担当したマテリアリティ
「少子化・高齢化社会」
「生物多様性・資源の保護」

「会社を良くしたい」という方が集まり、ベテラン社員の方々と年次の枠を越えて意見を交換できたのは貴重な体験でした。ワークショップを通して、お客さまにお楽しみいただきながら地域全体で資源の保全に取り組む方法もあると感じました。所属するモールでも環境イベントを検討しており、上司からは「知識を還元してほしい」と言われているので、今後は実現に向けて企画を進めていきたいですね。

イオンモール ベトナムでは積極的に社会貢献活動に取り組もうという動きがあり、当社の基本的な考えや日本の取り組みを深く理解するために参加しました。ワークショップを通して得た知識や経験を踏まえ、今後ベトナムでもチームを組んでSDGsの目標を設定し、従業員一人ひとりの意識を高めてKGI/KPIの達成に向けて活動を推進していきたいと考えています。行政や各種団体とも連携し、地域とともに課題に向き合っていきたいです。



イオンモール ベトナム
総務部
経営企画セクション
マネージャー
ファム フワン ティン

担当したマテリアリティ
「文化の保存・継承」
「気候変動・地球温暖化」